



リウマチ教室を開催しました

3月28日(火)、院内にてリウマチ教室を開催いたしました。今回は、伊丹哲医師より「関節リウマチ治療の合併症」のテーマでお話しいたしました。

関節リウマチの治療でよく使われるメトトレキサートはじめ各薬の紹介に続いてそれぞれの副作用について説明を行いました。副作用については、血液検査結果のどの項目を注意してみたらよいか、日頃の診察でお渡しする検査結果を例にお話ししました。関節リウマチの治療において、メトトレキサートをはじめとする抗リウマチ薬は大変重要な役割を果たしていますが、同時に副作用のリスクは見逃せません。副作用に関しては、薬を減らしたり、副作用を抑えたりする薬を併用するなどの必要があります。どんな小さなことでも不安や疑問を感じたら、必ず医師に相談していただけますようお願いいたします。

よく使用される関節リウマチの治療薬

- メトトレキサート (リウマトレックス)
- サラゾスルファピリジン (アザルフィジン)
- ブシラミン (リマチル)
- タクロリムス (プロGRAF)
- ミゾリビン (プレディニン)
- イグラチモド (ケアラム)

メトトレートの副作用

- 口内炎
- 嘔気・嘔吐
- 肝障害
- 骨髄抑制
- 腎機能障害
- 間質性肺炎
- 感染症
- リンパ節腫大
- 葉酸の内服
- 薬剤減量
- 薬剤投与

